

		チェック項目	○×
前に踏み出す力	主体性	(1) 自分の卒業後のビジョンをしっかりと持っている。	
		(2) 学びの主体は自分であることを理解している。	
		(3) 登録した科目の受講目的が明確である。	
		(4) 授業は自分が一歩前に踏み出して、積極的に参加するものだとして理解している。	
		(5) 登録した科目の修得目標は何か、シラバスで時々確認している。	
		(6) シラバスを活用して、次回の授業の予習をしてから授業に臨んでいる。	
		(7) 授業後、復習をして、分からない点・更に深めたい点を明確にして、次の授業に参加している。	○の数
		(8) 授業時間以外でも、先生に質問したり、図書館、パソコンを積極的に利用している。	
		(9) シラバスに紹介されている参考文献や関連する書籍にも目を通して学修している。	レベル
		(10) 自分のビジョンを実現するために、好成績を取る努力をしている。	
前に踏み出す力	働きかけ力	(1) 学修成果をあげるために一番大事なことは、自分が学びの主体になることであると理解している。	
		(2) 授業は、先生と学生による協働作業であると理解している。	
		(3) 授業は、学生同士の協働作業であると理解している。	
		(4) 自分のビジョンを実現するには、自分以外の能力が必要であることを理解している。	
		(5) 授業に率先して参加している。	
		(6) 授業では、協働の輪が広がるようにチームメンバーに働きかけている。	
		(7) あまり親しくしていない先生や学生に対しても、挨拶をしている。	○の数
		(8) 自分と同じ考え方をしている人に、話しかけられる。	
		(9) 普段あまり親しくしていない人にも、話しかけられる。	レベル
		(10) 周りの人から信頼されるような行動を取ることを心がけている。	

○の数：9～10=レベル5、6～8=レベル4、3～5=レベル3、1～2=レベル2、0=レベル0

		チェック項目	○×
前に踏み出す力	実行力	(1) シラバスを読むことで、この授業の学修内容と修得目標を明確に理解している。	
		(2) この科目の修得目標を常に意識しながら受講している。	
		(3) 授業中は、常に集中している。	
		(4) 毎授業後、理解できた点・理解できなかった点を明確にしている。	
		(5) 学修内容について、図書館で調べたり、友達に聞いたり、先生にも質問している。	
		(6) 予習して授業に臨む習慣が身に付いている。	
		(7) 復習する習慣が身に付いている。	○の数
		(8) 課題は、毎回期限内に確実にやり遂げている。	
		(9) 定期試験で間違えた問題を、試験後見直しフォローしている。	レベル
		(10) 授業について行けないことがあっても、諦めず粘り強く最後まで学修に取り組んでいる。	
前に踏み出す力	課題発見力	(1) 登録した科目の到達目標・意義をしっかりと理解している。	
		(2) 受講目的を明確にし、自分の現時点の到達点を自己点検できている。	
		(3) 課題が与えられた時、どのように取り組んでいるのか、自己点検して的確に実態を把握している。	
		(4) この科目に対して、どのような姿勢で授業に参加しているのか、学修に専念できているのか、自己点検している。	
		(5) 自身の成長のために常に新たな問題、課題を発見している。	
		(6) 自分の学修上の問題点を解決するうえで、効果的な課題を発見している。	
		(7) 登録した科目に対する自己の学修上の問題点を見つけている。	○の数
		(8) 自分の学修内容の問題点を洗い出すために、担当の先生のアドバイスを受けている。	
		(9) 自分の学修上の問題点を解決するうえで、効果的な解決策を発見している。	レベル
		(10) 学修目標を大目標・中目標・小目標ごとに設定することで、自分の課題を発見している。	

○の数：9～10=レベル5、6～8=レベル4、3～5=レベル3、1～2=レベル2、0=レベル0

		チェック項目		○×
計画力	(1)	シラバスを利用して、自分のための学修計画を立てている。		
	(2)	勉強と生活のバランスを考えて計画を立てている。		
	(3)	学修計画に従い、予習・復習のための時間をきちんと確保している。		
	(4)	マネジメントサイクル（計画→実行→確認→改善行動）に沿った計画を立てている。		
	(5)	手順・方法・スケジュール（期限含む）を明確にした計画を立てている。		
	(6)	計画案を複数作り、その中から自分にとって最適なものを実施計画として選択している。		
	(7)	計画どおりに実施できているかを確認しながら行動している。		○の数
	(8)	計画が予定どおりに行かない時、計画の見直しを行っている。		
	(9)	課題提出に対しては、余裕を持って確実に成し遂げられるよう無理のない計画を立てている。		レベル
	(10)	授業期間中と長期休暇期間の違いを意識して、豊かな学生生活が送れるような計画を立てている。		
考え抜く力	(1)	課題を解決する行動がとれている。		
	(2)	課題の解決につながるような発想をしている。		
	(3)	既存の方法に捉われない。		
	(4)	課題を解決するために、今までに身に付けた知識・技術を最大限活用している。		
	(5)	課題解決に向けて、新たな知識・技術を積極的に身につける行動をしている。		
	(6)	独自の考え方を生み出している。		
	(7)	従来の考え方に捉われずにいろいろな方向から新たに考えている。		○の数
	(8)	普段から「なぜ～、どうして～」というように、いろいろなことに疑問を持つ習慣が身に付いている。		
	(9)	普段から「私ならこう考える、こうした方がいいのでは」というように、自分なりの考え方を持つ習慣が身に付いている。		レベル
	(10)	一つの見方だけでなく、いろいろな観点から発想することで、複数のアイデアを提案できる。		

○の数：9～10=レベル5、6～8=レベル4、3～5=レベル3、1～2=レベル2、0=レベル0

		チェック項目		○×
発信力	(1)	分からない点・疑問点があった時、進んで質問している。		
	(2)	質問された内容に合った受け答えをしている。		
	(3)	質問をする時は、質問内容を整理してから質問している。		
	(4)	6W2H(いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・どのように・どれくらい)を明確にして発言している。		
	(5)	自分の考えを、日頃から文章にして、分かりやすく整理している。		
	(6)	みんなが共感できたり・納得できる発信をしている。		
	(7)	言葉だけでなく、絵や図表を用いて発信している。		○の数
	(8)	自分の主張したいことを相手に理解してもらえるよう、考えを整理して発信している。		
	(9)	話したいことは、「結論・理由・状況」の順番に要点を絞って整理して伝えている。		レベル
	(10)	声の大きさ・話す速さ・力強さなどをTPO(時・場・目的)に応じて発信している。		
チームで働く力	(1)	人の話は、理解しようと意識して聴いている。		
	(2)	話の内容を整理しながら聴いている。		
	(3)	相手の主張したいことを確実に理解している。		
	(4)	ただ単に耳を傾けているだけでなく、要点・疑問点等をメモを取りながら聴いている。		
	(5)	話している人の顔とか目を見て聴き、話しやすい雰囲気を作っている。		
	(6)	話の内容が分かったとき・分かり難いとき等、理解度に応じて話し手に分かるようにサインを送りながら聴いている。		
	(7)	人の話を途中でさえぎることなく、終わりまで聴くようにしている。		○の数
	(8)	相手が話につまずいた時、「それはこういうことですか？」と手助けをしている。		
	(9)	相手の伝えたいことや意見に質問することで、さらに内容を引き出している。		レベル
	(10)	固定観念や先入観を持たずに、人の話を素直に聴くようにしている。		

○の数：9～10=レベル5、6～8=レベル4、3～5=レベル3、1～2=レベル2、0=レベル0

		チェック項目	○×
チームで働く力	柔軟性	(1) 人によって意見や考え方が違うことを理解して対応している。	
		(2) 相手の意見や考えからについて、決して無視したりせず尊重している。	
		(3) 意見や考え方に違いがあった場合、どこがどのように違うのか冷静に整理している。	
		(4) 他の学生のいろいろな意見・考え方に対して、自分の成長に繋がるという姿勢で聴いている。	
		(5) 意見や考え方の違いが埋まらない場合、今後の課題として受け止めている。	
		(6) 自分の考え方ややり方だけにこだわらない。	
		(7) TPO（時・場・目的）に応じて、適切な答えを見つけている。	○の数
		(8) どのような意見であっても、感情的にならずに、冷静に対応している。	
		(9) たとえ意見が対立した相手であっても、議論が終わった後には気持ちを切り替えて、相手の人格を尊重している。	レベル
		(10) 相手の意見や考え方を取り入れて、自分の意見や考え方をより良いものに修正している。	
チームで働く力	状況把握力	(1) 授業は学生が主体的に参加して初めて成立するものである。	
		(2) 授業において必要な姿勢・態度を選択し、行動している。	
		(3) 先生と学生の間で、受講するうえでの約束をお互いかわすことの必要性を理解している。	
		(4) 先生や、他の学生の言葉以外のメッセージを読み取って行動している。	
		(5) 自分以外にも質問や意見のある人がいることを配慮して、行動している。	
		(6) 授業を作り上げるために、周囲の状況も読み取りながら、他者の考えや行動を受け入れている。	
		(7) より良い授業を作り上げるため、クラス全体の状況を把握する余裕を持って受講している。	○の数
		(8) 授業が予定通りに進行していない時、自分にできることはないかと考えている。	
		(9) その時・その場・その状況の中で期待されている役割を読み取って、先生と一緒に授業を作りあげている。	レベル
		(10) 登録した科目の修得目標は何かを把握したうえで、自分の役割を認識して、受講している。	

○の数：9～10＝レベル5、6～8＝レベル4、3～5＝レベル3、1～2＝レベル2、0＝レベル0

		チェック項目	○×
チームで働く力	規律性	(1) 授業は学生が主体的に参加して初めて成立するものである。	
		(2) 授業において必要な姿勢・態度を選択し、行動している。	
		(3) 先生と学生の間で、受講するうえでの約束をお互いかわすことの必要性を理解している。	
		(4) 先生や、他の学生の言葉以外のメッセージを読み取って行動している。	
		(5) 自分以外にも質問や意見のある人がいることを配慮して、行動している。	
		(6) 授業を作り上げるために、周囲の状況も読み取りながら、他者の考えや行動を受け入れている。	
		(7) より良い授業を作り上げるため、クラス全体の状況を把握する余裕を持って受講している。	○の数
		(8) 授業が予定通りに進行していない時、自分にできることはないかと考えている。	
		(9) その時・その場・その状況の中で期待されている役割を読み取って、先生と一緒に授業を作りあげている。	レベル
		(10) 登録した科目の修得目標は何かを把握したうえで、自分の役割を認識して、受講している。	
チームで働く力	ストレスコントロール力	(1) ストレスになりそうな時は、それを回避する方法を持っている。	
		(2) ストレスが発生した時は、自分なりの解決方法を身に付けている。	
		(3) 気分転換の方法をいくつか持っている。	
		(4) 自分がどういう場合にストレスになりやすいか、自分の経験から理解している。	
		(5) 自分にとって良くない結果が出ても、事実として受け止め、動揺することなく対応している。	
		(6) 自分自身の感情に対して、できるだけ無理のないように対応している。	
		(7) ストレスを一人で抱えるのではなく、友人や先生に相談している。	○の数
		(8) 自分だけで解決ができないストレスがある時、アドバイスを求める友人や先生がいる。	
		(9) ストレスを自己成長のチャンスだと捉えている。	レベル
		(10) 失敗したり、うまくいかなかったとき、その原因を冷静に分析している。	

○の数：9～10＝レベル5、6～8＝レベル4、3～5＝レベル3、1～2＝レベル2、0＝レベル0